

隊員が聞いた つぶやき

今は仕事で忙しいけど、いずれは
田んぼや畑もやってみたいな！
同世代の仲間を誘ってみようかな～

若い世代に地域を
引っ張ってもらい
たいな～

わたしたちが地域のいろいろな方のお話を聞かせていただく
中で、聞こえてきた「つぶやき」をご紹介します。「つぶやき」
は、どうかしたい、こうなったらいいなどの想いの現れ。地域を
よくしていくための芽のようなものと思います。簡単に変えていけ
るものではないけれど、少しでも皆さんの幸せにつながる方法はない
か、わたしたちも一緒に考えさせていただきたいと思っています。

地域づくりの話も気にな
るけど、正直何から始め
ていいかわからない。。



「おじいちゃんか樹射したヒノキ。」



「野菜の土落としは、竹ざるが一番。」



「飛び入り参加の最年少！」



「まだまだ行くぜ！」



「あれれ？なんだっけ？」

地域おこし協力隊が
勝手に選んだ
旭の景色、5/100選！



あなたの
お力貸して
ください！

このかわら版は、皆さんからお聞きした情報をもとに作っています。旭にこんな素晴らしいものがある、がんばっている人がいる、きれいな景色があるなど、情報がございましたら、ぜひお寄せください。また、かわら版の作成に協力して下さる方も大歓迎です。そのほか、地域をよくしていくためのアイデアやご提案をお持ちの方もどうぞご連絡ください。

連絡先：協働のまちづくり推進課（担当 大河原）
TEL 0229-63-3215 FAX 0229-63-2037

編集後記

旭かわら版も記念すべき第5号。今回からは、地域おこし協力隊の高橋巴隊員が記事を書いてくれています。旭地区公民館を拠点に活動している彼女は、より身近な旭の魅力を掘り起こしてくれました。高橋隊員は、あたたかく迎え入れてくれた旭地区の皆さんに何が出来るのか、考えながら活動しているとのこと。この第5号には、その想いが随所に表れています。

さて、今回の記事にもありますが、12月9日に旭地域力向上講演会を開催させていただきました。「地域を考える」というと、難しい、自分たちには遠いことのように感じるかもしれませんが、根本は、皆さんがより幸せに楽しく暮らせる方法を探ることだと思っています。皆さんと本音で語り合える場を、これからもっと作っていきますので、よろしく願いいたします。

協働のまちづくり推進課 大河原

地域おこし協力隊が見て、聞いて、教わった旭。

旭かわら版 第5号

発行：加美町協働のまちづくり推進課
発行日：平成30年2月1日
連絡先：〒981-4292
加美町字西田三番5番地
TEL：0229-63-3215
FAX：0229-63-2037
E-mail：kyodo-matidukuri@town.kami.miyagi.jp



12月2日に旭小学校で行われた『収穫祭』は、お父さんやお母さんだけでなく近所のおじいちゃんやおばあちゃん、旭地区のみんながとても楽しみにしている恒例行事。

旭小学校のみんなが一所懸命育てたもち米でついたお餅は、本当においしかったです！作物の実りに感謝して、みんなでいただく。一年中食べ物に困らない世の中に慣れてしまうと、ふと忘れてしまいそうになる感謝の気持ち。そして、みんなで食べる幸せ。一人や二人でもおいしいごはんは食べられるけれど、大勢で肩を寄せ合って食べるごはんは特別な気がします。

子どもたちによる凌雲炎舞太鼓やすずめ踊り、ダン



スの披露では、選曲やパフォーマンスなど招待した人々を楽しませる心意気も感じられ、本当に素晴らしかったです。途中で諦めたりせず、できるまでがんばる子どもたちなんだとうれしそうに話す先生。全校児童21名の小さな学校という印象はどこにもなく、大きな希望に満ちていました。

旭小学校の皆さん、先生方、そしていつも全力でサポートしているお父さんお母さん方、本当にありがとうございました。



はい！どんどん！
はい！じゃんじゃーん！
はい！がんばって～がんばって～！

いっぱい食べたよ～！
おいしかったよ～！
ありがとね～！





2/11(日)は、雪まつりがあるよ！
みんな遊びに来てね～

続・陶芸教室



旭小学校のみんなに釉薬を塗るところを見せてもらいました。ひと筆ずつ丁寧に色づけする子もいれば、職人さんのような技で大胆に塗る子もいてびっくり！



地域に伝統工芸「切込焼」があり、受け継がれてきたからこそできる貴重な経験。旭っ子には、学校の外にも学び舎がいっぱいあるんですね◎

レクリエーション！



年末は、婦人会・レクスポメンバーのレクリエーション大会や百寿会のスポーツ大会などが行われ、連日とても賑やかでした。みんなと一緒に体を動かせば、心もポカポカ♪勝っても負けても大笑い♪みんな元気に一年の締め括りができました。2018年もアクティブに盛り上がっていきましょう！



花だんに球根を。



百寿会の皆さんが公民館の花だんに球根を植えてくださいました。熟練の手際を發揮し、作業はあっという間に終了。何色のお花が咲くのかな？春はまだまだ先ですが、ぜひ見に来てくださいね！百寿会の皆さん、寒中ありがとうございました～！



旭地区公民館便り

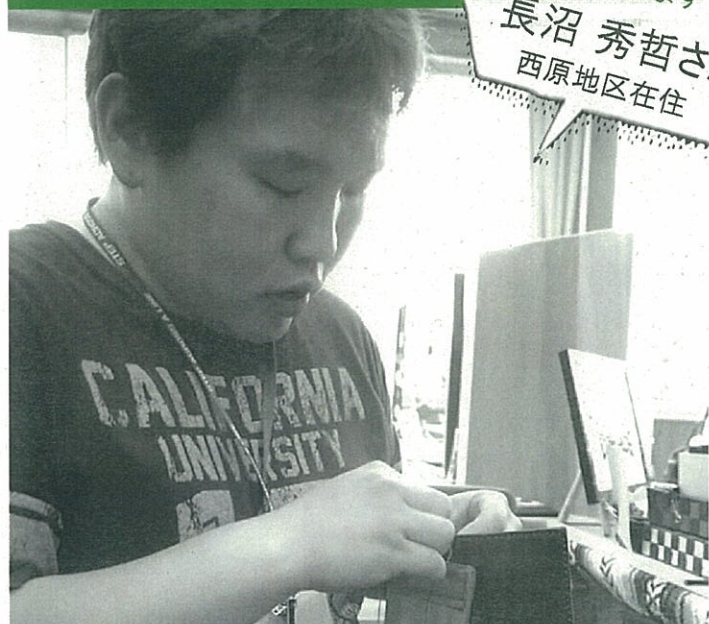
公民館では、様々なイベントが行われています。施設の貸出もしています。集いの場として是非ご活用ください！

クリスマスリースづくり☆



旭小学校のみんなと地域おこし協力隊のメンバーと一緒にクリスマスリースを作りました。旭の山で採ってきたツタに松ぼっくりやどんぐりで飾りつけ。子どもたちの斬新なアイデアを必死にサポートする地域おこし協力隊。(笑) 公民館の分も作ってくれたので玄関に飾りました♪みんなありがとう～◎

旭の若い作り手をご紹介します！
長沼 秀哲さん
西原地区在住



長沼秀哲さんは、宮崎公民館で行われている『加美マルシェ』に出展しています。屋号は『Lether Craft COWHIDE』(レザークラフト カウハイド)。牛皮を使ってコインケースや時計のベルト、キーホルダーなどを作っています。好きな色の牛皮と糸を選びたい！という方には、オーダーメイドで対応して下さるそうです。張りのある艶やかな牛皮は、使い込むと柔らかくなり馴染んできます。その変化も牛皮の魅力のひとつ。マルシェ当日は道具を持ち込み、リクエストがあればその場で刻印を押したり、器用な手先で可能な限り注文に応じてくれる長沼さん。3月25日(日)の『加美マルシェ』にも出展するかも！？是非ご来店を◎

みやぎきの恵みを いがす会



11月5日、「陶芸の里ゆ～らんど」で『みやぎきの恵みをいがす会』の炭焼き体験イベントが行われました。小さなお子様連れのご家族も多く、とても賑やかな一日となりました。

参加された方からは、「炭焼き窯から炭を取り出す作業も、手作りの炭でバーベキューをする体験もなかなかできることではないので、貴重な体験ができてよかった！」などの感想をいただき、いがす会のメンバーの皆様にとっても次年度に向けての活力になったのではないかと思います。

旭地区は、炭焼きを生業としていた人たちが多く暮らしていた土地です。自然の恵みを生かす技、そして自然と共に生きていく知恵を、これからは地域内だけでなく訪れる人たちとも共有していくことで、より豊かな未来につながっていくのかなと感じました。

いがす会の皆様、大変おつかれ様でした！

旭地域力向上講演会

～考えてみよう 旭のこれから～

12月9日に行われた「旭地域力向上講演会 ～考えてみよう、旭のこれから～」にご参加いただいた皆様、お忙しい中足を運んでいただき誠にありがとうございました。基調講演をしてくださった『きりりよししまネットワーク』事務局長の高橋由和さんのお話やワークショップはいかがだったでしょうか？

少子高齢化や人口減少の勢いを止めることは難しいかもしれないけれど、**自分たちの住んでいる町のことを自分たちで考える**という点においては、地区の規模や経験は関係なく、とても大事なことなのではないかと思います。

昔のように住民同士が力を合わせて生きることが少なくなった今、地域の結束が薄れつつあることも仕方のないことなのかもしれません。だからこそ、そんなときだからこそ！「こんな町に住みたい！」など、これからの未来に希望を持って新しい地域づくりに取り組むチャンスなのではないかと感じています。

協働のまちづくり推進課では、平成30年度に向けて様々な構想を練っています。住民同士のつながりを大切にしたり、地域の子供たちの成長をみんなで見守る家族のように温かい旭地区の皆様には、「**みんなの町！加美町！**」の先頭を切っていただきたい！不安に思っているところも、本当はもっと自慢したい地元愛も、もっともっと私たちに聞かせてください。

10年後、20年後の旭を、どんな地域にしたいですか？



旭地区の皆さん、ありがとうございました(*~*)

